

【調査B】 COVID-19に伴う看護学実習への影響調査（科目別）_実習科目責任者様

平素より日本看護系大学協議会および日本私立看護系大学協会の事業活動に対し深いご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

この調査【調査B】は科目責任者として開講している実習科目に対して、ご回答いただくものです。

★提出方法について、各回答者様が、メールに調査票（エクセルファイル）を添付して、**10月23日（金）**までに下記へご提出ください。尚、この調査は、秘密保持契約を結び寿樹計算株式会社に一切の調査工程を依頼して実施しています。

提出先：covid19_survey@jujokeisan.co.jp

※お問い合わせはメールでお願いいたします。 <お問い合わせ先> E-mail：jpnecs@jade.dti.ne.jp

JANPU会員コード（4桁）	<input type="text"/>	プルダウンで学校コードを選択すると大学名、区分、ブロックが自動的に表示されます。 学校コードがわからない場合は別シートを参照してください。
大学名／設置区分	<input type="text"/>	<input type="text"/>
貴学の設置場所（ブロック）	<input type="text"/>	

◆COVID-19に伴う看護学実習への影響調査について

2020年1月から9月までに開講し終了した、責任者をされているご担当の実習科目についてお伺いします。

年度をまたぐ実習科目においても上記の時期に開講されていた科目を含みます。

なお、通常前述の時期には実習科目を開講していない場合は、現在開講している実習科目についてご回答ください。

I. ご担当の実習科目についてご記入ください。

項目	回答	
実習科目名	<input type="text"/>	*名称記入
学年等	<input type="text"/>	*リスト選択
開講学期	<input type="text"/>	*リスト選択
実習開講時期（予定時期_2020年）	<input type="text"/>	*リスト選択
単位数	<input type="text"/>	*リスト選択
必修・選択の別	<input type="text"/>	*リスト選択
該当する専門領域	<input type="text"/>	*リスト選択

II. COVID-19 流行による社会的影響を受け、ご担当の科目において、実習内容・方法を変更しましたか。

実習内容・方法の変更の有無	
<input type="text"/>	*リスト選択

III. ご担当の科目の実習内容・方法の変更について、お尋ねします。

項目	実施の有無 *リスト選択
変更決定時期	
変更理由（主たる理由1つを選択ください）	
変更した学生数	
変更内容（以下、複数回答）	
臨地での実習時期の変更（延期含む）	
臨地での実習時間の短縮	
実習施設の変更	
実習施設ごとの学生人数の縮小	
臨地での実習中止	
学内実習への変更	
遠隔授業形式※による実習への変更 ※対面ではなくICTやオンラインによって教員が学生とのやり取りを行う形式のこと	
その他 （自由記述）	

IV. 臨地での実習延期・短縮・中止に伴う、実習内容・方法変更の対応・工夫（代替え）についてお聞かせください。

1. 対応・工夫（代替え）の実際

種類	対応・工夫（代替え）の有無 *リスト選択
シミュレーターの活用	
視聴覚教材の活用	
事例の活用	
実習指導者の招聘	
患者（看護の対象）の招聘	
XR（仮想現実VR、拡張現実AR、複合現実MR）演習	
その他 対応・工夫されたものがあればご記入ください。 （自由記述）	

2. 学生によって実習内容・方法が異なった場合（例：臨地での実習有無、受け持ち患者の有無など）、学修体験の格差を是正するための対応はされましたか。

1) 学修体験の格差を是正するための対応

学修体験の格差を是正するための対応の有無
対応あり⇒2)を回答ください

*リスト選択

2) 対応の具体的な内容

学修体験の格差を是正するための対応の具体的な内容	
その他 具体的にご記入ください。 (自由記述)	

*リスト選択

*自由記述

3. 臨地での実習短縮・中止に伴い、実習内容・方法の変更への対応・工夫（代替え）の結果、実習目標の到達状況についてお聞かせください。

1) 知識・技術・態度に関する実習目標の到達状況について、通常の実習内容・方法と比べてご回答ください。

項目	到達状況
知識に関すること	
技術に関すること	
態度に関すること	

*リスト選択

*リスト選択

*リスト選択

2) 実習内容・方法の変更への対応・工夫（代替え）を行っても、到達が困難であった到達目標はありましたか。

達成が困難であった到達目標について

*リスト選択

3) 到達困難であった到達目標について具体的にお書きください。

*自由記述

V. 臨地での実習延期・短縮・中止に伴う、ご担当科目の実習形態の変更についてお聞かせください。

1. 実習形態について、プルダウンリストから選択してください。

※遠隔授業形式とは対面ではなくICTやオンラインによって教員が学生とのやり取りを行う形式のこと

実習形態について

*リスト選択

2. 遠隔授業形式による実習と学内実習でのよかった点を選択してください。

1) 遠隔授業形式による実習のよかった点

前設問【1. 実習形態】で「遠隔授業形式による実習」または「遠隔実習と学内実習」を選択した場合に回答ください。

項目	よかった点	
学生の学修進度が把握しやすい		*リスト選択
学生の参加状況が把握しやすい		*リスト選択
学生に教材が提示しやすい		*リスト選択
学生とコミュニケーションがとりやすい		*リスト選択
実習の準備が軽減した		*リスト選択
学生の学修意欲が高まった		*リスト選択
学生の自己学修時間が増えた		*リスト選択
その他具体的にご記入ください。（自由記述）		*自由記述

2) 学内実習のよかった点

前設問【1. 実習形態】で「学内実習」または「遠隔実習と学内実習」を選択した場合に回答ください。

項目	よかった点	
学生の学修進度が把握しやすい		*リスト選択
学生の参加状況が把握しやすい		*リスト選択
学生に教材が提示しやすい		*リスト選択
学生とコミュニケーションがとりやすい		*リスト選択
実習の準備が軽減した		*リスト選択
学生の学修意欲が高まった		*リスト選択
学生の自己学修時間が増えた		*リスト選択
その他具体的にご記入ください。（自由記述）		*自由記述

VI. 以上、臨地での実習の中止・短縮等に伴う対応・工夫についてお聞きしましたが、上記以外で、各実習科目で工夫したこと、実習目標到達に効果的であった取り組みについてご紹介ください。（自由記述）

*自由記述

VII. 感染予防のために実習施設と調整・確認していることすべてについて、プルダウンリストから選択してください。

項目	調整の有無	
実習時期		*リスト選択
受け入れ人数		*リスト選択
受け入れ日数		*リスト選択
実習時間（臨地での実習時間、開始時間・終了時間など）		*リスト選択
使用病棟・部署		*リスト選択
学生の体調管理方法		*リスト選択
学生の実習可否判断基準（発熱、自覚症状、健康観察の結果、行動履歴など）		*リスト選択
学生が感染もしくは、濃厚接触者になった場合の対応方法		*リスト選択
学生の実習時間外のごし方（都道府県外への外出、アルバイト等）		*リスト選択
PCR検査等の実施と結果の開示		*リスト選択
受け持ち患者		*リスト選択
実習方法の調整（申し送り参加、看護ケア方法、見学への変更など）		*リスト選択
カンファレンス開催方法		*リスト選択
電子カルテならびにカルテ室の使用方法		*リスト選択
学生記録場所の確保と3密対策		*リスト選択
学生更衣場所の確保と3密対策		*リスト選択
学生昼食場所の確保と3密対策		*リスト選択
学生が使用する更衣室・昼食場所等の消毒		*リスト選択
感染防護用具の準備		*リスト選択
実習施設への入室方法（入り口、入室時の健康チェックなど）		*リスト選択
実習施設設備の使用方法（エレベーター、廊下、売店など）		*リスト選択
実習施設の移動可能場所、病棟までの通路など		*リスト選択
実習委託費の変更		*リスト選択
その他 （自由記述）	*自由記述	

【お願い】

今後、これらについて、JANPU看護学教育質向上委員会・私立看護系大学協会大学教育委員会によるヒアリングへのご協力の可否をご回答ください。

可		否	
---	--	---	--

*どちらかの○を選択ください

その他、COVID-19に伴う看護学実習への影響について自由に記載してください。

*自由記述

ご協力ありがとうございました。